

Touch-B.R.A.I.N.

Touch-Blitz Reflash and Advanced Information Network

INSTALLATION MANUAL

VOL. 8

- (注意 1) 本製品は製品改良のため予告なく本体ソフトウェアをバージョンUPすることがございます。そのため本書と製品の内容が若干異なる場合があります。本文中の画面表示及び数値は説明用に加工している場合があります。
- (注意 2) 本書は製品製造時の情報をもとに製作されております。
取り付け作業に入る前に必ず最新情報を弊社ホームページ
(<http://www.blitz.co.jp>) にてご確認ください。
- (注意 3) 弊社ホームページ (<http://www.blitz.co.jp>) にて公開している
車種別適合表の車両情報と、取り付け車両が一致していても
稀に本製品が正常動作しない場合 (通信しない、項目が表示されない等)
があります。
本書をもとに本製品を仮装着していただき、正常動作確認後に
固定取り付けしていただくようお願い致します。
- (注意 4) 本製品はエンジンECU制御情報をモニタリングする装置です。
そのため、本製品と車両のメーターの指示値に誤差が生じる場合
ありますが故障ではありません。
また、本製品はノーマル車両を前提に製作されております。
よって、エンジンECUに擬似信号を送信する部品を併用したり、
改造が施されたECU搭載車両に本製品を接続すると、
本製品が異常値を示したり、故障の原因となりますのでお止めください。
- (注意 5) 車両をディーラーへ入庫される際は、本製品を故障診断コネクタ (OBD IIコネクタ)
から取り外して入庫してください。
ディーラーによっては故障診断コネクタ (OBD IIコネクタ) に社外製品が接続されて
いることで入庫を断られる可能性があります。

BLITZ

目次	P 1
パーツリスト	P 2
注意事項 1	P 3
注意事項 2	P 4
製品特徴・オプションパーツについて	P 5
取付方法 1	P 6
取付方法 2	P 7
取付方法 3	P 8
取付方法 4	P 9
設定画面 1	P 10
設定画面 2	P 11
設定画面 3	P 12
設定画面 4	P 13
設定画面 5	P 14
設定画面 6	P 15
設定画面 7	P 16
画面説明 1	P 17
画面説明 2	P 18
画面説明 3	P 19
画面説明 4	P 20
画面説明 5	P 21
画面説明 6	P 22
故障診断機能	P 23
ハイブリッドモード 1	P 24
ハイブリッドモード 2	P 25
故障と思う前に	P 26
カスタマー登録と製品の保証について	P 27
お問い合わせ先	P 27
MEMO 1～3	P 28～30

パーツリスト

※サイズはおおよその値を記載してあります。また予告なくサイズ/仕様変更する場合があります。

 <p>※本体サイズ：130×75×15mm ※ハーネス長：1500mm</p>		 <p>※ハーネス長：500mm</p>		 <p>※ハーネス長：1500mm</p>	
本体	1	メインハーネス	1	シガープラグ	1
				 <p>※中敷きの下に入っています。</p>	
取付スタンド	1	アタッチメント（テープ付）	1	台座プレート（テープ付）	1
					
ストラップ	1	タイラップSET	1	保証書	1
					
取扱説明書	1				

注意事項 1

■製品を安全にご使用いただくために『注意事項』を必ずお読みになり、よくご理解ください。

※本書は、本製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。

良くお読みになって、正しくお使いください。

※装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。

(表示項目の説明)



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される差し迫った危険な状況を示します。



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、物質損害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される差し迫った危険な状況を示します。

(本製品は、車両電源がDC 12V車で車体[ボディ]アースの車両専用です。)

DC 24V又は12V・24V兼用車には使用しないでください。火災の原因となります。

(換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。)

換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。

(本製品および付属品は確実に固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けしないでください。)
運転に支障をきたし、事故の原因となります。

(車両/製品より異音/異臭等の異常が発生した場合、使用を中止し専門業者にて点検/整備を行ってください。)
修理等に関してはお客様ご自身で対処すると、怪我などの恐れがあり危険です。必ずプロの知識を持った専門業者へ依頼をしてください。

(本製品の装着により車両本来の性能が損なわれている場合は、専門業者にて点検/整備を行ってください。)
そのままの状態で行くと、予期せぬトラブルを誘発するばかりではなく、事故を招く可能性があります。

(運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。)

事故の原因となる恐れがあり大変危険です。

(本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。)

事故・火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。

加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外にさせていただきます。

(エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。)

エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。

注意事項 2

警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。

(バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。)

ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。

(高温になる場所や、水が直接かかる場所には、取り付けをしないでください。)

感電、火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。

(本製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。)

ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。

使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行ってください。

(コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。)

ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。また、製品の故障の原因となります。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。

(本製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。)

取り付けには専門の知識と技術が必要です。間違った装着や使用方法により車両装備品及びエンジン破損につながる恐れがあります。

(本製品は精密部品です。装着前に落下させたり装着時に無理な力を加えないでください。)

作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。

(無線機器について)

レーダー探知機・リモコン等、無線電波を利用した装置の併用はおやめください。

電波の影響により、正常に動作しない場合があります。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、物質損害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。

(定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。)

この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちる事があります。

(取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。)

当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。

(ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。)

必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

(本製品は純正車両を前提に企画されております。)

純正以外のパーツを取り付けている場合は、本製品が正常に作動しなかったり、本製品および車両に不具合が出たりする可能性があります。

(本体を長時間高温になる場所に放置しないでください。)

60℃以上の高温もしくは0℃以下の低温状態に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用はおやめください。故障の原因となります。

(車載モニターについて)

車載モニターにより、本製品を接続することでTV映像が多少乱れる場合があります。本製品の異常ではありませんので、症状が発生した場合、本製品を使用しない時は車両の故障診断コネクタに接続している本製品のコネクタを外してください。

(各種安全装置・支援装置について)

本製品を取り付けたことにより各装置の認識に使用されるレーダーやカメラ、センサー等の認識範囲がノーマル状態と異なり誤作動を起こす可能性も考えられます。

各自動車メーカーの安全装置・衝突回避支援装置・運転支援装置装着車など誤作動の発生やそれに伴う事故などの損害について弊社はその責任を負うことができませんので、ご了承ください。

製品特徴・オプションパーツについて

本製品は、故障診断コネクタ搭載車の、エンジンECU制御情報を表示可能なマルチモニターです。以下に製品の特徴を記述致しますが、車種により対応していない機能もあります。弊社ホームページ(<http://www.blitz.co.jp>)にて公開している車種別適合表とあわせてご覧ください。（注1）

- ①タッチパネル式3.5インチTFTカラー液晶搭載で、今までにない操作性と視認性を実現。
- ②車両の故障診断コネクタへカプラーオンで簡単に取り付けができます。
- ③弊社ウェブサイトより最新プログラムをダウンロードすることで将来的なバージョンアップに対応。
- ④多彩なグラフィックを実現し、視認性を重視したレーシング表示モード、近未来的なデザインを取り込んだ3D表示モード、ECO運転を支援するECO表示モードから選択可能。
- ⑤走行データをロギングし、市販のUSBメモリもしくはmicroSD（注2）を使用することでロギングデータをパソコンで確認できるデータロガー機能（注3）を搭載。
オプションパーツのPC LINK CABLEを使用すればリアルタイムロギング可能。
- ⑥エンジンECUのデータをチューニングプログラムに書き換えられるReflash機能搭載。
オプションパーツのReflash Cardを本製品に挿入し、Reflash機能を実行すれば即チューニングECUに生まれかわります。もちろんノーマルデータを保存しておけばノーマル復帰も可能です。
- ⑦オプションパーツのジャンクションボックスと専用センサー（別売）を接続することにより、エンジン制御情報だけではなく、実際のセンサー計測値を追加表示させることが可能。

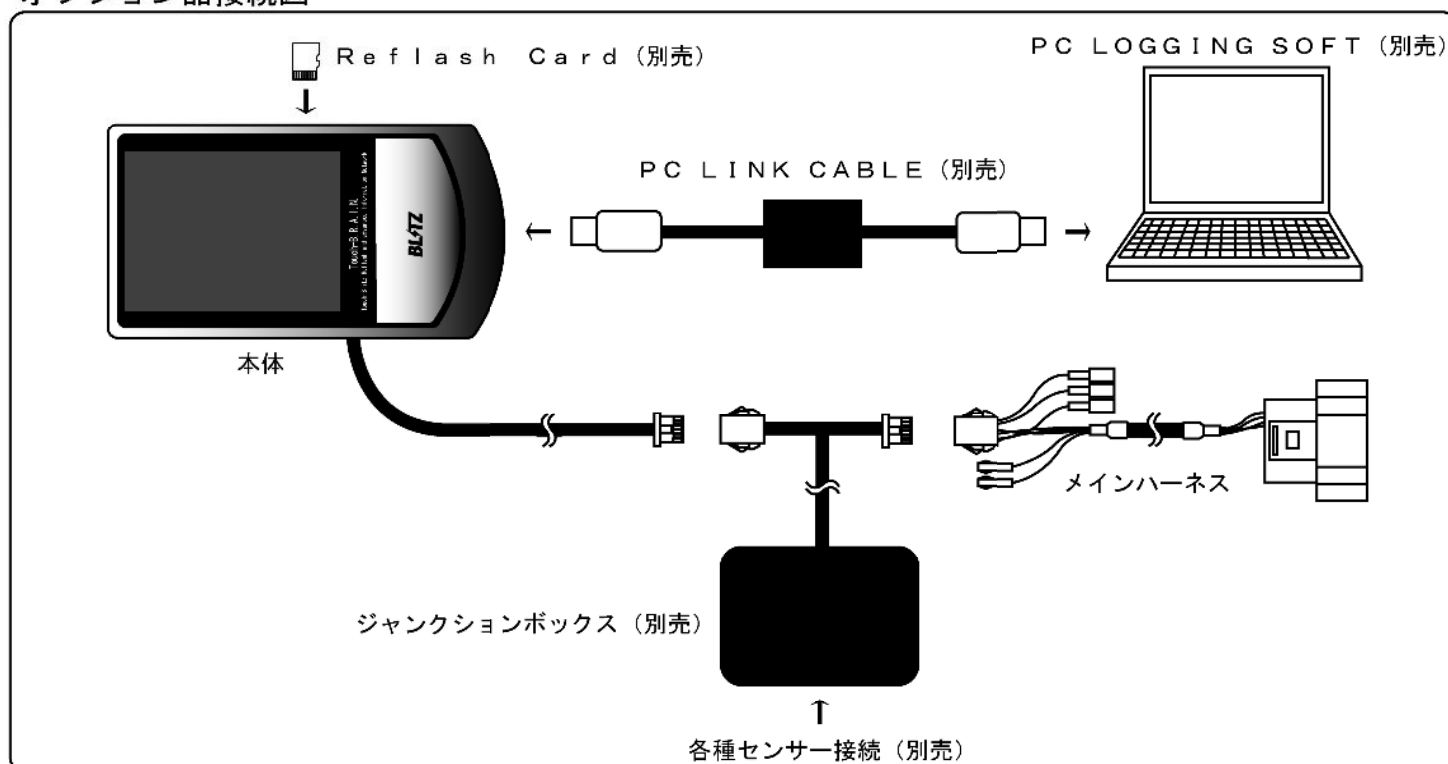
（注1）表示項目に関しては、弊社ホームページ(<http://www.blitz.co.jp>)にて公開している車種別適合表に記載されております最新情報をご参照ください。

（注2）本製品と市販のUSBメモリ/microSDの相性により、本製品がUSBメモリ/microSDを認識できない場合があります。

（注3）PC LOGGING SOFTは別売りになります。
詳しくは弊社ホームページ(<http://www.blitz.co.jp>)をご参照下さい。

※別売品に関する最新情報は弊社ホームページ(<http://www.blitz.co.jp>)にて公開しております。

オプション品接続図



取付方法 1

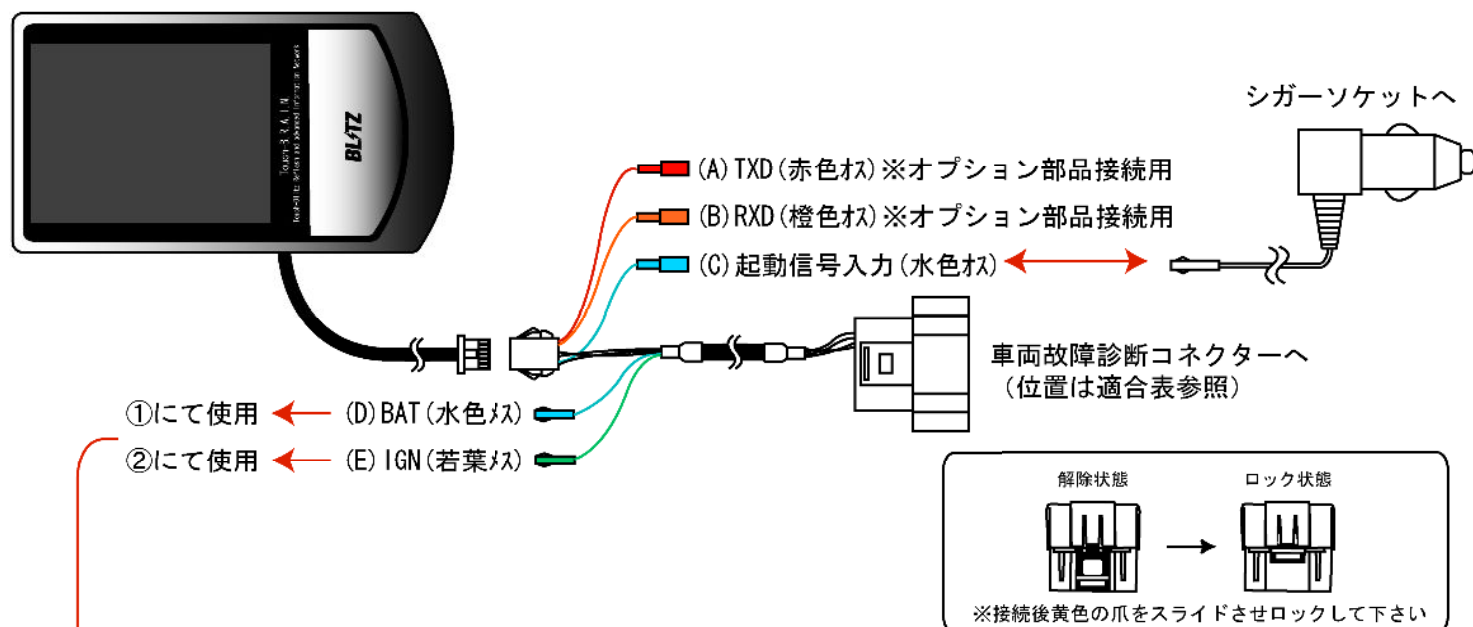


注意 コネクター及びプラグ等は確実に接続してください。
不確実な場合、動作不良または溶解する恐れがあります。

●メインハーネス接続方法

シガープラグを(C)水色オスへ接続してください。(IGNに連動してON/OFF動作します)

※NISSAN NON OBDハーネス使用の場合は、NISSAN NON OBDハーネスの取扱説明書に従って接続してください。



シガープラグを使用しない取付が可能な車両の場合

下記①、②はシガープラグを使用しなくても電源のON/OFFをさせることが可能な車両です。

①適合表に記載されている通信方式が****CANの車種は

(C) 水色オスと (D) 水色メスを接続することで車両の通信を読み取り電源のON/OFFを行います。
エンジンOFF後数秒で“Connection Failure!! (通信エラー)”と表示され
10秒でシャットダウンされます。

※スマートキーが車両の近辺にありますと通信が止まらず
BRAINが再起動を繰り返す場合がありますが不具合ではありません。

スマートキーが車両から離れれば一定時間でOFFになります。

※車両のキーOFF時でもドアの開け閉めやキーレス操作で通信が

開始されBRAINの電源が入る場合がありますが不具合ではありません。

“Connection Failure!! (通信エラー)”と表示され10秒でシャットダウンされます。

上記の動作が煩わしい場合はシガープラグの接続をお願い致します。

②スバル、日産 (NONOBD以外) の一部車種でEのコネクターへ12VのIGN信号が

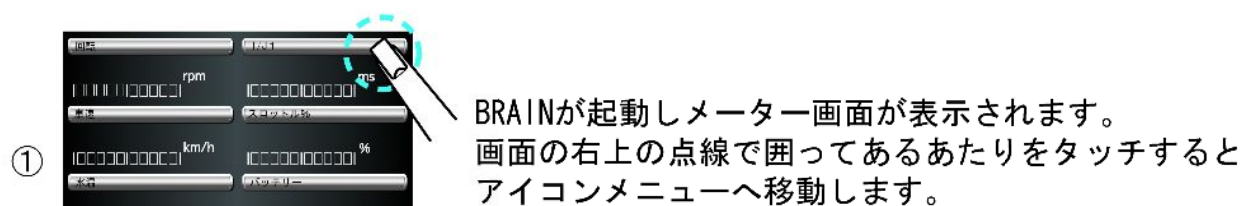
来ている場合は (C) 水色オスと (E) 若葉メスを接続するとIGNに連動してON/OFF動作します。

(C) 水色オスと (E) 若葉メスを接続してエンジンONしても起動しない場合はシガープラグの
接続をお願い致します。

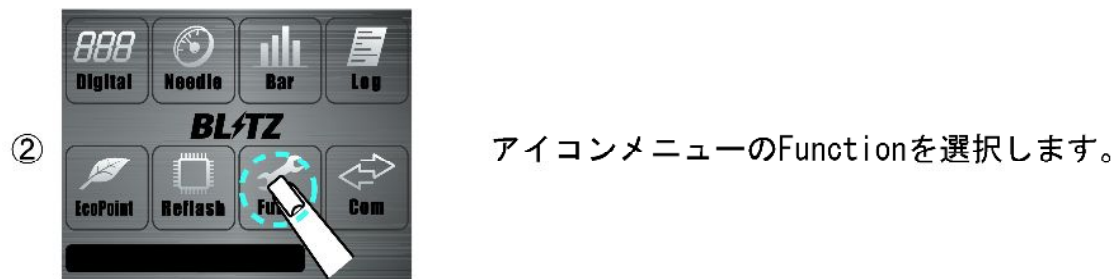
取付方法 2

●初回接続時の操作方法

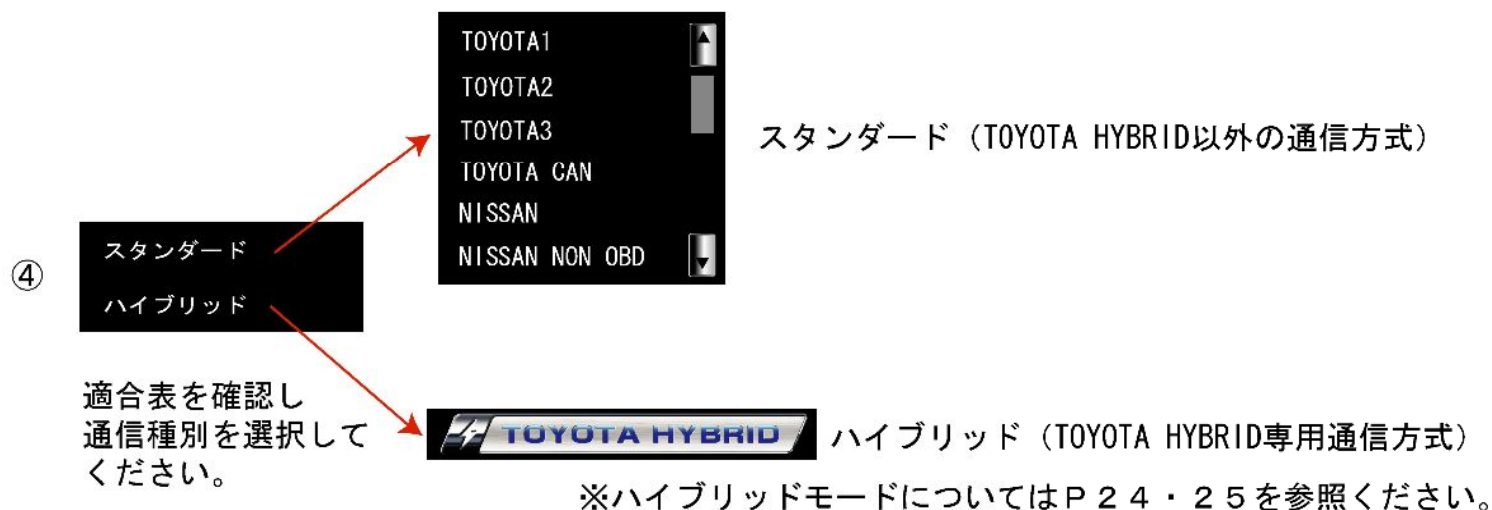
P 6 を参照してメインハーネスを接続し、車両のエンジンをかけます。



メーター画面



アイコンメニュー



各種設定や操作方法是P 10～を参照ください。

取付方法 2

⚠ 注意

- ①本製品は、運転席の視界の妨げになる場所には、取り付けしないでください。
- ②本製品は、直射日光のあたる場所や、直接熱の影響を受ける場所には、取り付けしないでください。本体破損の恐れがあります。
- ③本製品は、周囲温度が60℃以上、0℃以下になる場所での使用及び保管はお止めください。液晶モニター表示/本体動作速度等に影響が出るだけでなく、本体破損の恐れがあります。ただし、その際の液晶モニター表示不具合に関しては一時的なもので、周囲温度が60℃以下、0℃以上になれば正常に戻る場合があります。
- ④本製品は、付属のスタンド及びストラップを必ず使用して車両へ確実に固定取り付けしてください。本製品が車両の衝撃等により飛び出すのを防止します。

●本体を付属のスタンドを使用して以下の手順で車両へ固定してください。

- (1) スタンド固定用の台座を付属の両面テープで取り付け位置に固定してください。
- (2) 台座の上にスタンドを取り付け、吸盤圧着レバーを押し下げてください。
(取り外す際は、吸盤圧着レバーの左右についているロック解除ボタンを引っ張るとレバーが引き上がります。その後、吸盤のつまみを持ちながら上方へ引き上げてください。無理矢理取り外すと、スタンドが破損する恐れがあります。)
- (3) スタンドの切りかきにあわせて、アタッチメントをスタンドへ取り付けてください。その際、アタッチメントが確実に固定できるように、切りかきの奥まで確実に押し込んでください。
- (4) 付属のストラップをスタンドに取り付けてください。
ストラップの一方はダッシュボード等の確実に固定でき、運転の支障にならない場所に結びつけてください。
- (5) アタッチメントに本体を両面テープで固定してください。
- (6) アームを上下させて高さ調整をし、アームロックをかけて固定してください。
- (7) 角度調整をし、本体が動かない程度に角度固定ナットを手で締め付けてください。その際、締めすぎにないようにご注意ください。スタンドが破損する恐れがあります。



取付方法 3

⚠ 注意

- ①USB及びmicroSDを本製品へ挿入する際は、挿入方向にご注意ください。
誤った向きに挿入すると、本製品及びUSB/microSDを破損する恐れがあります。
また、microSDカードを斜めに挿入すると、カードが本体ケース内に脱落する場合がありますのでご注意ください。
- ②本製品で使用するUSBメモリー及びmicroSDへは本製品用のデータ以外の保存はお止めください。
- ③市販のUSBメモリー及びmicroSDの中には、本製品で認識できないものもございます。

- USB及びmicroSDの挿入箇所及び挿入方向は写真のようになります。
向きに注意して挿入してください。



(USB挿入箇所及び挿入方向)

USBメモリの使用用途

- ①BRAIN本体のバージョンUP
- ②ロギングデータの保存

BRAIN本体のバージョン確認方法



アイコンメニュー画面の
右下にバージョン情報が
表示されます



(microSD挿入箇所及び挿入方向)

microSDカードの使用用途

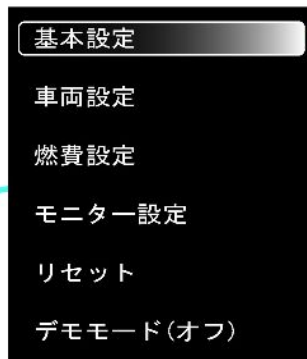
- ①ReflashCard (別売)にてECUの書き換え
- ②ロギングデータの保存

設定画面 1

●基本設定



※ハイブリッドモードの場合
画面デザインが異なります。
P 24・25を参照ください。



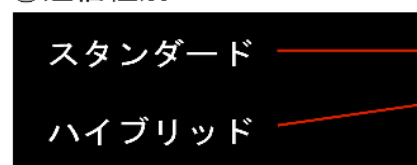
アイコンメニューから
Funct→基本設定を
選択してください。



①言語

言語という文字をタッチするごとに日本語/ENG(英語)/TRD(繁体字)/SMP(簡体字)へ切り替わります。

②通信種別



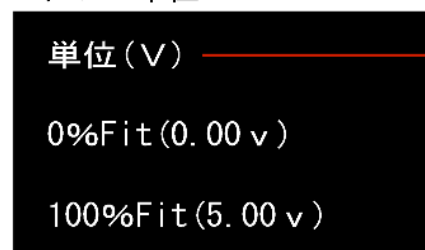
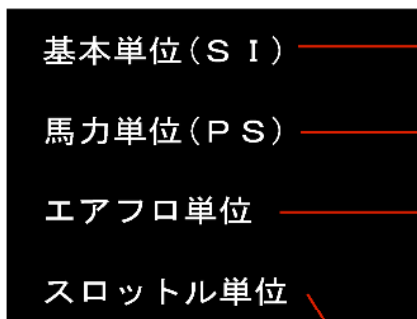
[スタンダード] TOYOTAハイブリッド以外の通信方式
[ハイブリッド] TOYOTAハイブリッドの車両(P 24・25 参照)

※通信種別に関しては、弊社ホームページ(<http://www.blitz.co.jp>)にて公開している車種別適合表を参照ください。

③単位

表示単位系の変更ができます。

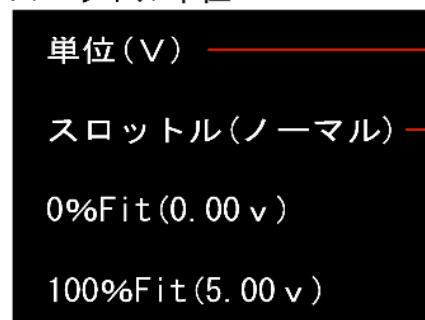
エアフロとスロットルに関しては電圧表示を%表示に変換できます。



V表示/%表示を選択します。

%表示を選択した場合0%と100%の
電圧値を設定できます。
エアフロ電圧のデータについては
弊社ではお答えしかねます。
自動車メーカーへお問い合わせください。

スロットル単位



V表示/%表示を選択します。

ノーマル/リバースを選択します。
アクセルを踏む→電圧が上がる=ノーマル
アクセルを踏む→電圧が下がる=リバース

%表示を選択した場合0%と100%の
電圧値を設定できます。
スロットル電圧のデータについては
弊社ではお答えしかねます。
自動車メーカーへお問い合わせください。

設定画面 2

●基本設定 続き

④ワーニング

項目 (回転) → ワーニングを設定したい項目を選択します。

上警告 (オフ)

上警告 (7000rpm)

下警告 (オフ)

下警告 (500rpm)

ワーニングは上限/下限を個別に設定できます。



数字部分をタッチして決定

⑤警告音

④でワーニング設定をオンにしている場合はブザーにて警告を促します。
警告音という文字をタッチするごとにブザーのON/OFFが切り替わります。
※ただし操作音をオフにしている際は警告音もOFFになります。

⑥スケール

メーターのリアルタイムバー表示やニードル画面の数字の振り方を変更できます。

項目 (回転) → スケールを設定したい項目を選択します。

最大 (9000rpm)

最小 (0rpm)

スケールは最大/最小を設定できます。



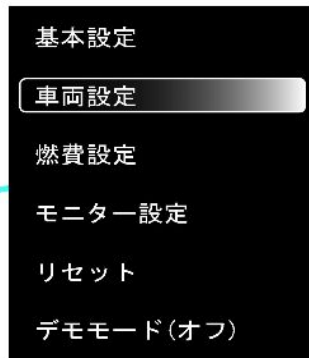
数字部分をタッチして決定

設定画面 3

●車両設定



※ハイブリッドモードの場合
画面デザインが異なります。
P 24・25を参照ください。



アイコンメニューから
Funct→車両設定を
選択してください。



①車両重量

取り付け車両の実車両重量を入力してください。
本設定はパワーの表示に関係しています。
設定値は実際より少ないと馬力も少なく表示され、多いと馬力も多く表示されます。



数字部分をタッチして決定

②排気量

取り付け車両の排気量を入力してください。
本設定は吸入空気量%の算出に使用します。



数字部分をタッチして決定

③ロス

ロスを設定することでパワー表示に補正をかけることができます。
通常は0%と設定してください。
パワー表示にずれがある場合に設定してください。
ロスを大きくするとパワーが多く表示され、小さくするとパワーが少なく表示されます。



数字部分をタッチして決定

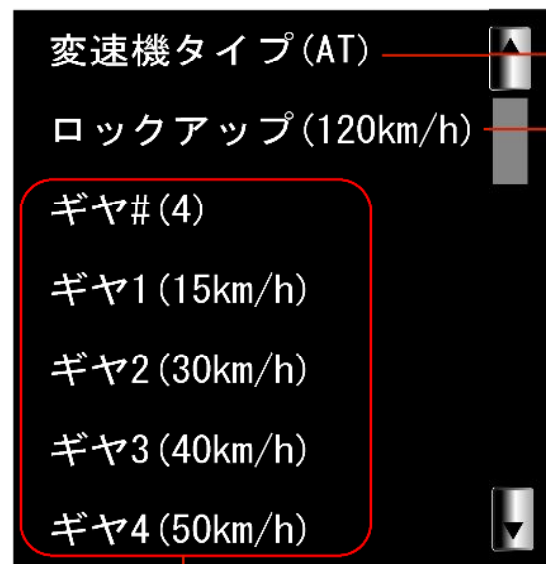
設定画面 4

●車両設定 続き

④ギヤ

ギヤポジション表示の設定になります。

※C V Tの車両は構造上、正確な値を表示出来ません。



AT/MTを選択できます。

ロックアップ表示学習(ロックアップ機構搭載車のみ)
表の条件で走行した時の車速を入力してください。
入力後、確定する場合は数値をタッチしてください。

※ロックアップとはエンジンと変速機の回転軸を直結状態にして燃費向上を図る機能で、主にアクセル開度5%前後で高速走行中に作動します。
※ロックアップ機構搭載車両でもロックアップ状態を表示できない車両もあります。

ギヤ位置条件				
AT			CVT	MT
O/D付	O/D無	MTモード付		
D(O/D ON)	D	トップギヤ	-	-

2500rpm一定で走行し、一瞬回転数が落ち込んだ時の車速を入力してください。

ギヤ#をタッチし取り付けの車両のギヤの数を入力してください。
表の条件で走行した時の車速を入力してください。
入力後、確定する場合は数値をタッチしてください。

※MT車では、シフトチェンジに時間がかかった場合などに、一時的に異なるギヤを表示する場合があります。
※AT車では、トルクコンバーターの影響によりアクセルOFFに、一時的に異なるギヤを表示する場合があります。

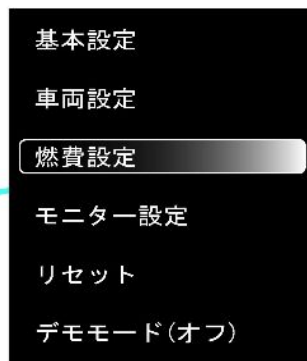
	ギヤ位置条件					走行条件
	AT			CVT	MT	
	O/D付	O/D無	MTモード付			
1速学習	L(O/D OFF)	1	1	-	1	加速中の2500rpm時の車速入力。数回実行し平均値を入力。
2速学習	2(O/D OFF)	2	2	-	2	加速中の2500rpm時の車速入力。数回実行し平均値を入力。
3速学習	D(O/D OFF)	3	3	-	3	加速中の2500rpm時の車速入力。数回実行し平均値を入力。
4速学習	D(O/D ON)	D	4	-	4	加速中の2500rpm時の車速入力。数回実行し平均値を入力。
以降のギヤも上記同様						

設定画面 5

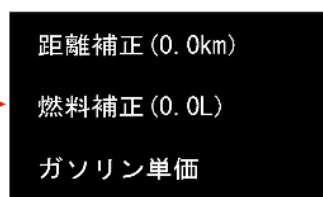
●燃費設定



※ハイブリッドモードの場合
画面デザインが異なります。
P 2 4 ・ 2 5 を参照ください。



アイコンメニューから
Funct→燃費設定を
選択してください。



燃費の各表示項目は距離・燃料補正により精度を高めることができます。

[補正の方法]

満タン給油 車両のトリップメーターをクリア
BRAINを燃費表示リセット (P 1 6 参照)

100 k m 以上走行 (少ないと精度が上がらない場合があります)

繰り返し行くと効果的です。

満タン給油

距離補正 (0.0km)
燃料補正 (0.0L)
ガソリン単価

車両のトリップメーターとBRAINの距離補正の右に表示されている数字を比べてずれている場合は距離補正にて車両トリップメーターに合わせます。
ずれていない場合も距離補正にて数字をタッチして0 k m にリセットします。
補正を行うとBRAINの距離表示は0 k m にリセットされます。

実際の給油量と燃料補正の右に表示されている数字を比べてずれている場合は燃料補正にて実際の給油量に合わせます。
ずれていない場合も燃料補正にて数字をタッチして0.0 L にリセットします。
補正を行うとBRAINの燃料消費量は0.0 L にリセットされます。

※距離補正を実行すると走行距離の表示も同時にリセットされます。

※燃料補正を実行すると消費燃料/燃料代の表示も同時に実行されます。

[ガソリン単価]

本機能は燃料代の算出に使用します。

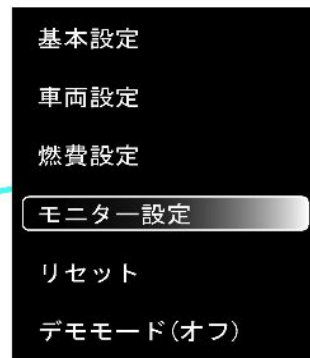
※設定後、ガソリン単価に変動が発生した場合はその都度設定を変更してください。なお、本製品の燃料代表示機能は、変動前の単価より算出した燃料代に、変動後の単価より算出した燃料代をプラスする方式を採用しております。

設定画面 6

●モニター設定



※ハイブリッドモードの場合
画面デザインが異なります。
P 24・25を参照ください。



アイコンメニューから
Funct→モニター設定を
選択してください。



[表示タイプ設定]

表示タイプという文字をタッチするごとにメータータイプがRacing/3D/Ecoと切り替わります。

[表示数値色設定]

表示する数値のカラーを設定します。赤/青/黄/緑/紫/白/橙/桃/灰/水の中から選択してください。

[ピーク数値色設定]

ピーク値のカラーを設定します。赤/青/黄/緑/紫/白/橙/桃/灰/水の中から選択してください。

[操作音設定]

タッチした時の音をON/OFF出来ます。操作音という文字をタッチするごとに設定が切り替わります。

[操作音量設定]

操作音量のボリュームを調整できます。

最後に表示されている数値をタッチして設定を確定してください。

[バックライト設定]

バックライトの明るさを調節出来ます。

最後に表示されている数値をタッチして設定を確定してください。

数値を小さくすると暗い方向に調整されます。

[減光設定]

減光時のバックライトの明るさを調節できます。

最後に表示されている数値をタッチして設定を確定してください。

暗い時に設定すると実際の減光具合が分かりやすいです。

減光モードへはメーターショートカット内の減光(オフ)を押して(オン)にしてください。

[操作ヘルプ表示設定]

アイコンメニューからメーター画面へ移った際に

表示されるヘルプをON/OFF出来ます。

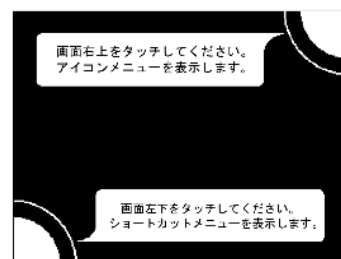
ヘルプという文字をタッチするごとに設定が切り替わります。

※操作ヘルプ表示中はタッチしても操作ができません。

[表示方向設定]

BRAINの使用向きを右/左/縦に設定できます。

表示方向という文字をタッチするごとに設定が切り替わります。



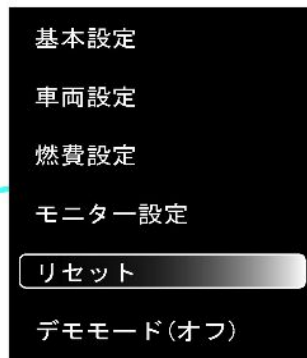
操作ヘルプ表示

設定画面 7

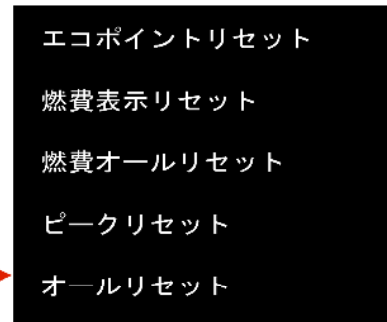
●リセット



※ハイブリッドモードの場合
画面デザインが異なります。
P 24・25を参照ください。



アイコンメニューから
Funct→リセットを
選択してください。



[エコポイントリセット]

エコポイントがリセットされます。

[燃費表示リセット]

走行距離/消費燃料/燃料代/平均燃費/積算燃費の表示のみがリセットされます。
燃料補正、距離補正で学習した補正值は残ります。

[燃費オールリセット]

燃料・距離補正值、及び走行距離/消費燃料/燃料代/平均燃費/積算燃費の表示がリセットされます。

[ピークリセット]

全項目のピーク値がリセットされます。
個別に行う場合はメータ表示画面で項目をタッチして行ってください。

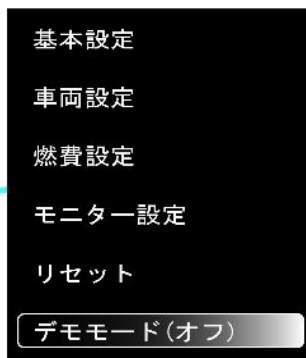
[オールリセット]

全ての保存データがリセットされ工場出荷状態に戻ります。

●デモモード



※ハイブリッドモードの場合
画面デザインが異なります。
P 24・25を参照ください。



アイコンメニューから
Funct→デモモードを
選択してください。

[デモモード]

デモモードをタッチするたびオフ/デモ1/デモ2と切り替わります。
デモモードは商品展示用の機能です。

画面説明 1

●デジタルメーター画面



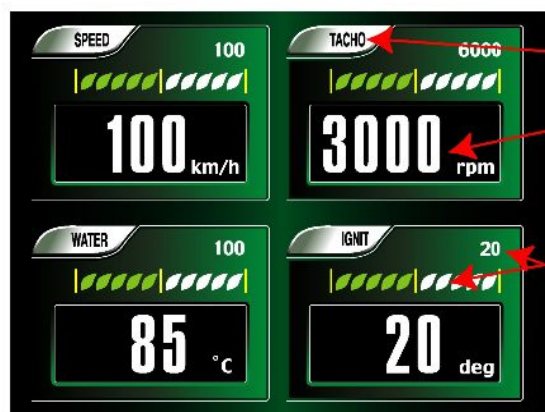
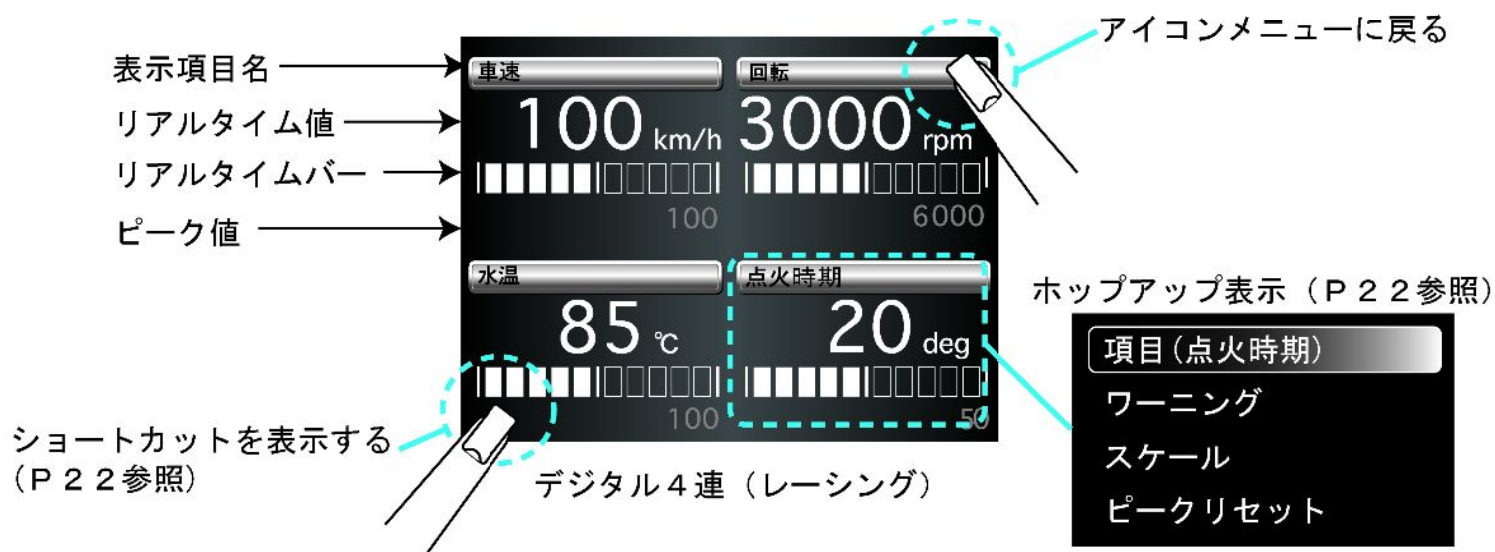
※ハイブリッドモードの場合
画面デザインが異なります。
P 24・25を参照ください。

8連モニター

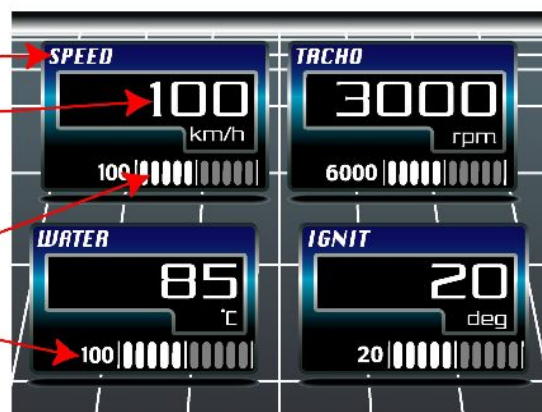
6連モニター

4連モニター

アイコンメニューからDigitalを選択
連数選択のポップアップが表示されますので
4/6/8連モニターから選択してください。



デジタル4連 (エコ)



デジタル4連 (3D)

画面説明 2

● ニードルメーター画面

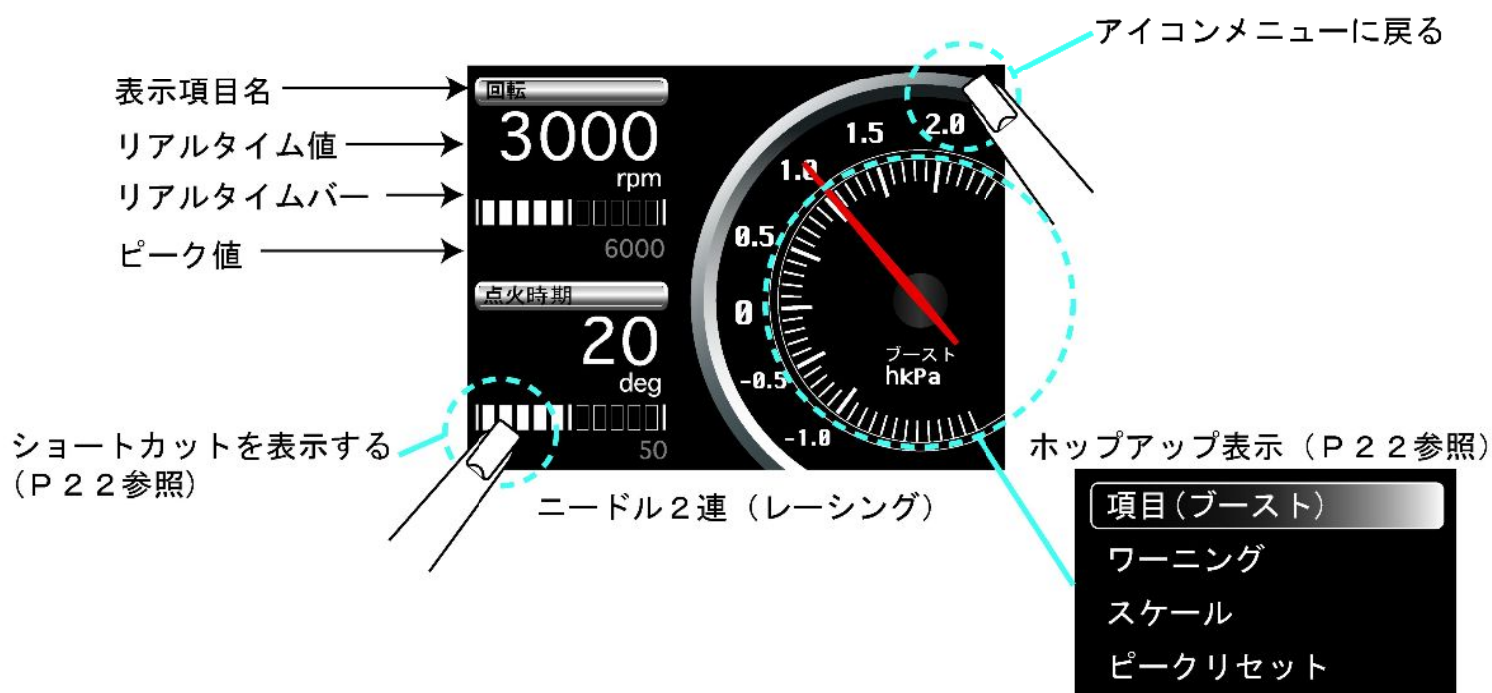


4連モニター

2連モニター

アイコンメニューからNeedleを選択
連数選択のポップアップが表示されますので
2 / 4 連モニターから選択してください。

※ハイブリッドモードの場合
画面デザインが異なります。
P 2 4 ・ 2 5 を参照ください。



ニードル 2 連 (3 D)



ニードル 2 連 (エコ)

画面説明 3

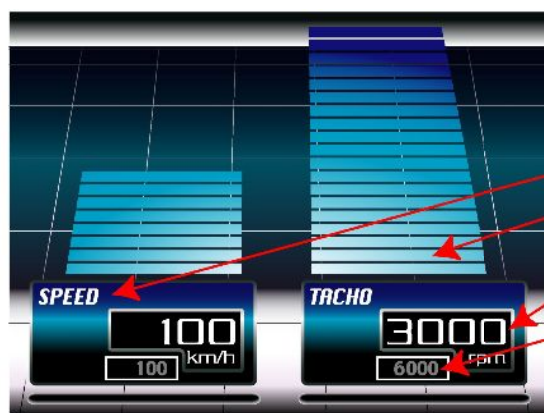
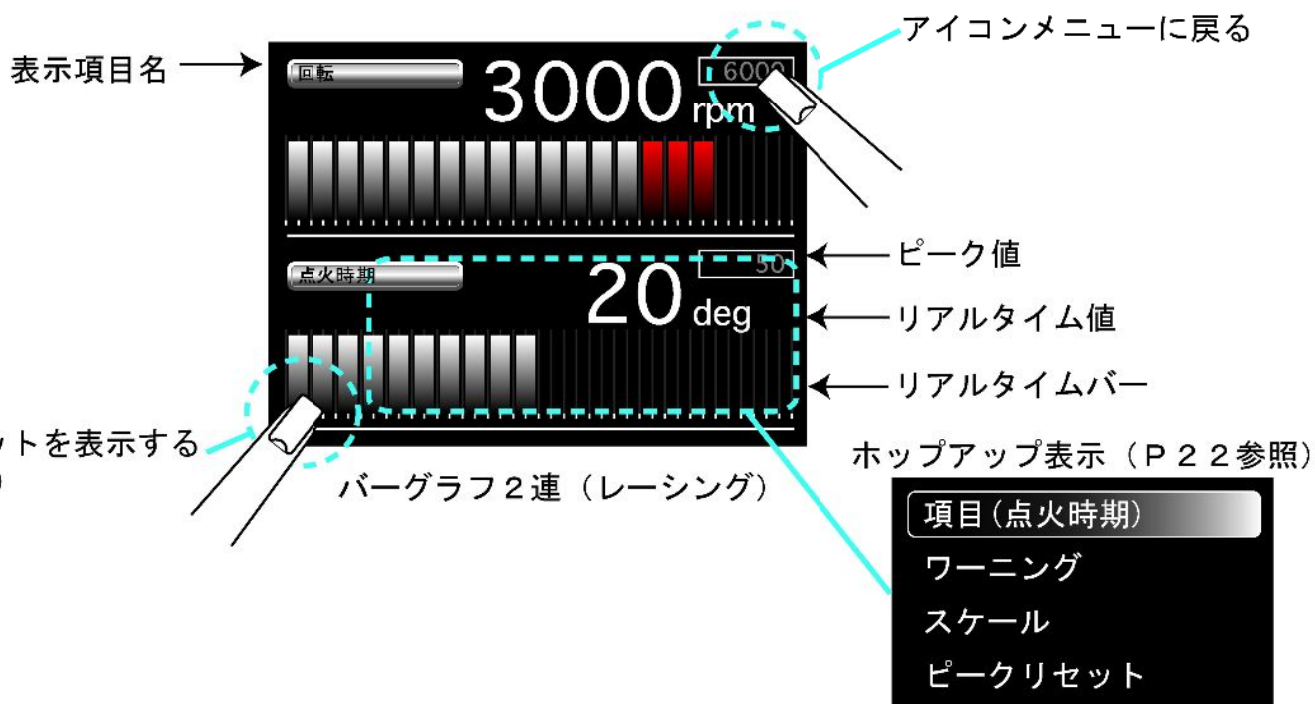
● バーグラフ画面



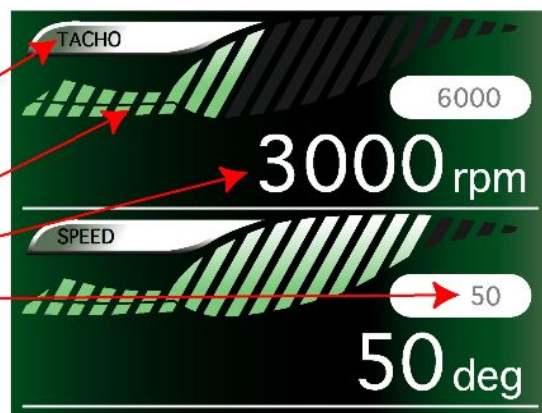
※ハイブリッドモードの場合
画面デザインが異なります。
P 24・25を参照ください。

4連モニター
3連モニター
2連モニター

アイコンメニューからBarを選択
連数選択のポップアップが表示されますので
2/3/4連モニターから選択してください。



バーグラフ2連 (3D)



バーグラフ2連 (エコ)

画面説明 4

●ロギング画面



4連モニター

3連モニター

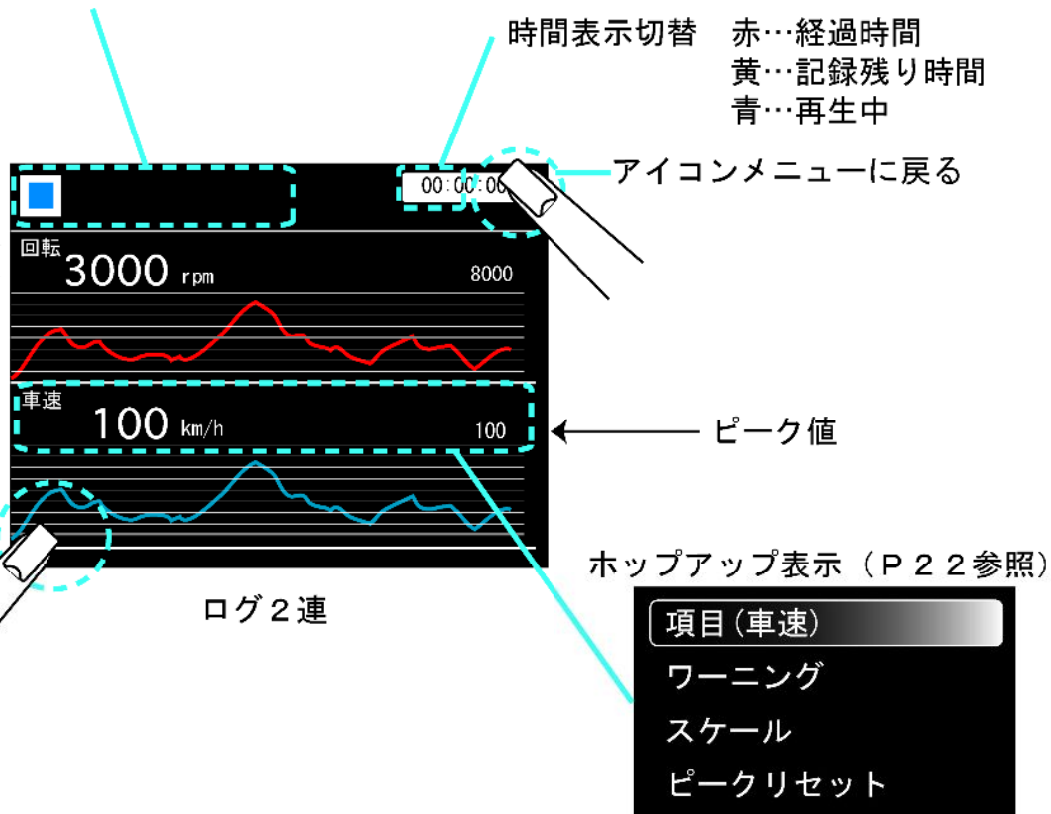
2連モニター

アイコンメニューからLogを選択
連数選択のポップアップが表示されますので
2 / 3 / 4 連モニターから選択してください。

※ハイブリッドモードの場合
画面デザインが異なります。
P 2 4 ・ 2 5 を参照ください。



表示項目名
リアルタイム値



ショートカットを表示する
(P 2 2 参照)

※ロギング画面専用ショートカット

サンプリング

本体ログ

表示ログ

USBから読み込み

SDから読み込み

サンプリング……データの保存周期を20/50/100msで変更できます。
本体記録時間は20msで30～40分、50msで40～50分、
100msで50～60分になります。計測項目等条件により変動します。
ファイルサイズは1M～2M程度になります。

本体ログ………本体に保存されているログを再生またはUSB・SDにコピーできます。
本体に保存できるログは1つで保存のたびに上書きされます。

表示ログ………表示中のログをUSB・SDにコピーできます。

USBから読み込み…USB内の保存データを選択し再生できます。

SDから読み込み……SD内の保存データを選択し再生できます。

画面説明 5

●エコポイント画面

あらかじめ平均燃費の目標値を設定し、10分間ごとの平均燃費を目標値と比較して採点するエコ運転支援画面です。（※適合表にて燃費の項目が表示可能車両のみ利用できます）

エコポイントとは…？

（例）目標平均燃費を10km/Lと設定し、常に燃費10km/L以上で60分間走行すればエコポイントは100になります。



アイコンメニューからEcoPointを選択

※ハイブリッドモードの場合
画面デザインが異なります。
P 2 4 ・ 2 5 を参照ください。

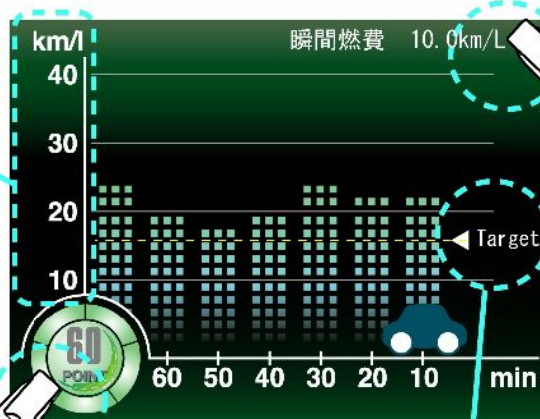


数字部分をタッチして決定

表示スケール変更画面

スケールの最大値が決まります。

ショートカットを表示する
(P 2 2 参照)



エコポイント画面

アイコンメニューに戻る



数字部分をタッチして決定

目標燃費変更画面

採点の基準となる目標燃費を決定します。

●リフラッシュ

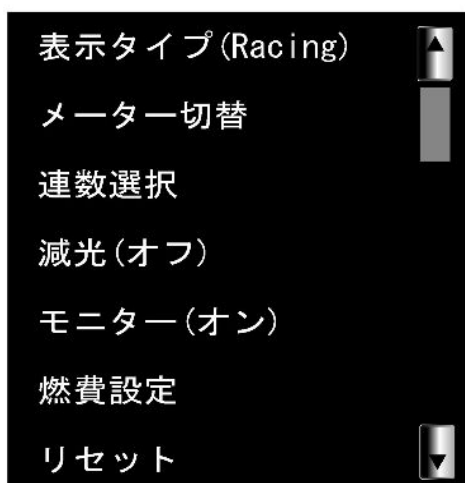


オプションパーツのReflash Card(別売)を利用する際に
使用します。
詳細はReflash Card(別売)の取扱説明書を参照ください。

●ポップアップメニューについて

①ショートカットポップアップ

各メーター画面の左下部分をタッチすると使用頻度の高い設定変更項目へのショートカットが表示されます。



[表示タイプ] 1回タッチするごとにRacing/3D/Ecoと順に切り替わります。

[メーター切替] Digital/Needle/Bar/Log/EcoPointへジャンプします。

[連数選択] アイコンメニューに戻らずに連数を変更できます。

[減光] 1回タッチするごとに減光モードのON/OFFが切り替わります。

[モニター] モニターをOFFにできます。
再度モニターをタッチするとONになります。

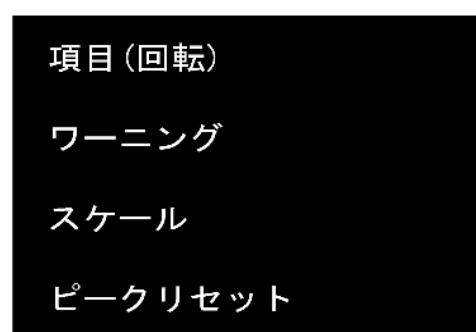
[燃費設定] 距離補正/燃料補正/ガソリン単価を設定できます。

[リセット] エコポイントリセット/燃費表示リセット/燃費オールリセット/
ピークリセットが可能です。
各リセット動作についてはP 16を参照ください。

※オールリセットは誤操作予防のためショートカット項目には
設けておりません。

②項目変更ポップアップ

各メーター画面の表示項目名をタッチすると表示項目変更ポップアップが表示されます。



[項目] 表示項目を選択できます。

[ワーニング] P 11 ④ワーニングを参照ください。

[スケール] P 11 ⑥スケールを参照ください。

[ピークリセット] 選択している項目のピーク値のみリセットします。

故障診断機能

本機能は、故障診断コード/故障診断コード内容/故障診断数を表示/消去できる機能です。主にISO-CAN通信採用車両で使用することができ、車種により、故障診断数表示機能のみ対応している場合や、本機能が使用できない場合があります。故障診断コードに関しては、一部弊社ホームページ(<http://www.blitz.co.jp>)にて公開しております。

なお、本機能の車種別適合情報及び、故障診断内容に関するお問い合わせに関しましては、弊社では一切お受けできませんのでご了承願います。



故障診断

JUNCTION BOX

アイコンメニューからComを選択
故障診断を選択してください。

●故障診断メニュー

故障診断読取り

トラブルコード

ペンディングコード

消去

[故障診断コード読取り]

車両ECUから故障コードを読み取ります。

以下の項目が表示されます。

DTC POPUPメッセージ	項目内容
DTC SUCCESS	故障診断項目読み込み成功
DTC SUCCESS NUM ONLY	故障診断数読み込み成功
DTC NOT CONNECTED	通信不可
DTC NOT IMPLEMENTED	故障診断機能非対応(ハードウェア非対応)
DTC NOT SUPPORTED	故障診断機能非対応(ソフトウェア非対応)
DTC CONDITION NOT CORRECT	車両状態が不適切(通信不可)
DTC TIMEOUT	タイムアウトエラー(故障診断機能非対応)
DTC ERROR GENERAL	その他のエラー(故障診断機能非対応)

[トラブルコード]

故障診断コード読み取り実行後に、トラブルコードをタッチすると内容が表示されます。

※トラブルコードとはECUに記録されている故障コードのことです。

[ペンディングコード]

故障診断コード読み取り実行後に、ペンディングコードをタッチすると、内容が表示されます。

※ペンディングコードとは、ECUに記録されている仮コード(待機エラーコード)で、問題が発生しているがトラブル(故障)に至っていない状態を示します。

[消去]

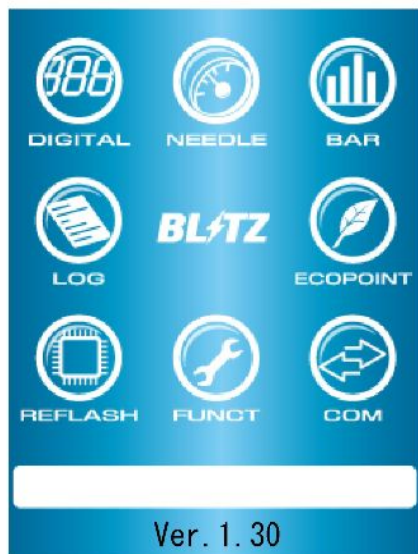
故障コードが読み取れた場合、故障コードを消去できます。

※一部消去できないコードもあります。

ハイブリッドモード1

TOYOTAのハイブリッド車両専用の通信方式を解析することにより通常では見ることの出来ない情報をモニタリングできます。 ※ハイブリッド対応プログラムはVer. 1.30以降となります。

●ハイブリッドモードアイコンメニュー



縦画面



横画面

メニュー画面は青が基調になります。

アイコンの配置等はスタンダードモードと同じです。

メーターに表示できる項目はスタンダードのTOYOTA CANに下記表の項目が追加されます。

※一部表示できない車両もあります。

詳しくは弊社ホームページ(<http://www.blitz.co.jp>)にて公開している車種別適合表をご参照ください。

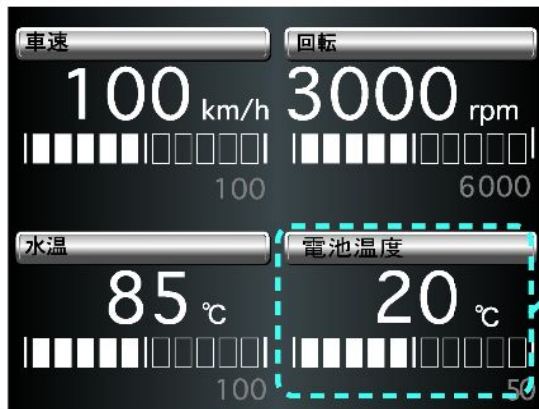
ハイブリッドモード追加項目 (※TOYOTA HYBRID以外の通信方式では表示されません)

項目名	内容説明
全電池容量	ハイブリッド用バッテリーの充電率を%で表示します。
電池電流	ハイブリッド用バッテリーの電流値を表示します。
昇圧前電圧	インバータ入力電圧値を表示します。
昇圧後電圧	インバータ出力電圧値を表示します。
電池電圧	ハイブリッド用バッテリーの電圧値を表示します。
電池ブロック電圧0~13(最大)	ハイブリッド用バッテリーのブロック分けされた1部分の電圧値を表示します。
電池温度0~2	ハイブリッド用バッテリーの温度を表示します。
モータートルク	フロントモーターの単体出力トルク値を表示します。回生ブレーキ時マイナス表示します。
モーター回転数	フロントモーター単体の回転数を表示します。バックしているときマイナス表示します。
エアコン消費電力	エアコン使用時の消費電力を表示します。
モーターパワー	モーター単体出力値を表示します。OBDにて取得できる項目から計算により算出した数値になります。カタログスペックとは異なる場合があります。
エンジンパワー	モーターを含まないエンジン単体の出力値を表示します。OBDにて取得できる項目から計算により算出した数値になります。カタログスペックとは異なる場合があります。 ※アルファード等リアモーターを搭載した車両では、エンジン+リアモーターの出力値になります。
エンジントルク	モーターを含まないエンジン単体のトルク値を表示します。OBDにて取得できる項目から計算により算出した数値になります。カタログスペックとは異なる場合があります。 ※アルファード等リアモーターを搭載した車両では、エンジン+リアモーターのトルク値になります。

ハイブリッドモード2

●電池情報 BATTERY PARAMETER

メーター表示にて全電池容量/電池電流/昇圧前電圧/昇圧後電圧/電池電圧/電池ブロック電圧/電池温度の項目を表示している時、ホップアップ表示に電池情報が追加表示されます。



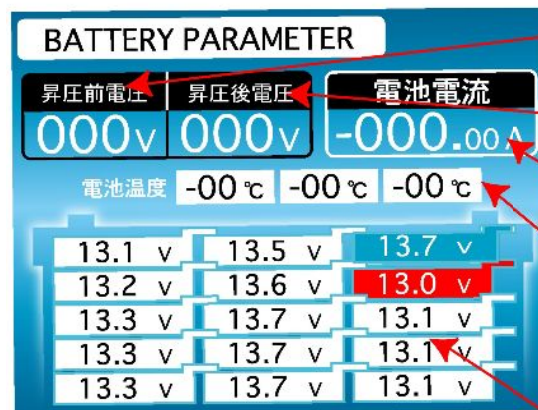
項目(電池温度)
ワーニング
スケール
ピークリセット
電池情報

・全電池容量
・電池電流
・昇圧前電圧
・昇圧後電圧
・電池電圧
・電池ブロック電圧
・電池温度
上記7項目のホップアップに電池情報が表示されます。

デジタル4連 (レーシング)



縦画面



横画面

昇圧前電圧

昇圧後電圧

電池電流

電池温度

電池ブロック電圧

電池ブロック電圧は最大値・最小値に青と赤で色が付きます。
色を付けたくない場合はFunct/モニター設定/電池ブロックをオフに設定してください。

※元のメーター画面へ戻る時は画面をタッチしてください

故障と思う前に

本製品が正常に動作しない場合には、一旦本体リセットをおこなった後に、下記を参考に再度症状の確認と不具合の修復を試みてください。

症状	原因	対処方法
本体がON しない。 本体がOFF しない。 本体がON/OFF を繰り返す。 通信エラーになる。	本体ハーネス/メインハーネスの接続不良。	本体ハーネス/メインハーネスのコネクターを確実に接続してください。
	本体起動信号供給不良。	当不具合が発生した全ての車両はシガープラグを使用する接続方法に変更してください。
	初期設定不良。	本書の設定方法のページ及び車種別適合表をもとに、通信種別の設定を再度おこなってください。
	接続車両が適合外車両である。	最新の車種別適合表を弊社ホームページにてご確認ください。
純正メーターとの誤差がある。	本製品は純正ECUのエンジン制御用情報を表示しているため。	比較対象の純正メーターの状態、仕様などにより多少の誤差は発生しますが、本製品の故障ではありません。
車速が、一定以上表示されない。 (例えば180km/h以上表示されない。)	本製品は純正ECUのエンジン制御用情報を表示しているため。	本製品はノーマル車両を前提に開発されており、また、純正ECUが認識している車速を表示しているため、ECUに擬似信号を送信してスピードリミッター機能を解除している場合などは、一定速度以上(例えば180km/h以上)表示できない場合がありますが、本製品の故障ではありません。
車種別適合表に記載されている表示項目が表示できない。	初期設定不良。	本書の設定方法のページ及び車種別適合表をもとに、通信種別の設定を再度おこなってください。
	車両仕様の変更。	年式などの違いにより、車両仕様の変更され、本製品の適合情報とは異なる場合があります。最新の車種別適合表を弊社ホームページにてご確認ください。
本体液晶が白っぽくなる。 本体液晶に縦ジマがある。 本体液晶が暗い。 本体液晶の表示が欠ける。 本体が高温になる。	画面設定不良。	本書の画面設定のページをもとに、バックライト/減光設定等を調整してください。
	本体固定位置不良。	本体は、直射日光の当たる場所、高温になる場所、低温になる場所などを避けてください。
ジャンクションBOXを接続しても追加センサーの項目が表示されない。	本体バージョンが異なる	ジャンクションBOXが接続可能な本体バージョンはVer1.20以降になります。本体のバージョンアップを行ってください。

カスタマー登録と製品の保証について

この度はブリッツ製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品はカスタマー登録をおこなって頂くことにより、製品保証規定に則って
製品本体の修理をいたします。

(場合によって修理できない場合などは代替品での対応となります)

カスタマー登録は下記弊社WEB SITEより簡単に行えますのでご購入後速やかに
登録をお願いします。

【カスタマー登録】<http://www.blitz.co.jp/touch-brain/>

※画面指示に従い登録を完了してください。

※登録の際には保証書に記載のシリアルナンバーが必要です。

オーナー様専用ページへは登録後メールにて発行されるIDにてログイン可能
となります。

尚、カスタマー登録をされない場合、添付保証書だけでは製品保証の対象とは
なりません。また、本体プログラムのバージョンアップなどのサポート等は一切
受けられませんのでご注意願います。また、登録後も添付保証書は検査/修理などの
際に必要になります。取扱説明書とともに大切に保管いただきますよう
お願いいたします。

お問い合わせ先

■お問い合わせ先

連絡先	BLITZ サポートセンター
TEL	0422-60-2277
URL	http://www.blitz.co.jp/touch-brain/

■発売元

発売元	株式会社 ブリッツ
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町4-7-6

BL⚡TZ